天渓　2014 年 「エベレスト街道 カラパタール 18 日間」

2 部

エベレス街道トレッキングの場合、一般的に 10 日間程度の日数が好まれます。しかし、この度の募集はカラパタールまで登るハードなコースに人気が集中、次回は何時と聞かれ「未定」とお答えするとお申込みが・・・。 と言う訳でお断りもできず OK を出していたら何とその数 20 名に。一般のハイキングならいざ知らず目標はカラパタール（5545m）、酸素分圧も平地の半分の所までお連れする訳で、入山前からあれこれ考え筆者は高山病状態に。

※酸素分圧は 3000m：70％、5000m：50％、8848m：30％

（夕日に映えるエベレスト　11/15 日）

〇ディンボチェへ

タンボチェを出発しパンボチェ（3930m）を通り、吹き降ろす風も弱く日当たりの良い所に位置するディンボチェ（4410m）へ。ここで 3 連泊し、裏手の稜線登りや標高差 4000mのローツェ南壁が迫るチュクン往復などしながら高度馴化を行いました。

（パンボチェ　上部　11/11 日）

○チュクン往復

2001 年アイランドピーク登頂時に訪れて以来のチュクン（4730m）、当時とすっかり変わり立派なロッジが建っていました。この標高にしては結構美味いパスタの昼食を済ませアイランドピーク方面へ少し進み、小高い丘へ。ここはかつて美しいヒマラヤヒダが見られた所。昔の愛煙家なら記憶に有ると思いますが、たばこのパッケージに使われた景色。しかし、その美しかったヒマラヤヒダも温暖化の影響で残念なことに可也崩れてしまいました。尚、決壊で心配される 3 大氷河湖の一つイムジャ湖もここから少し登った所にあります。

（チュクンへ　11/13 日）

（ヒマラヤヒダをバックに　11/13 日）

○ロブチェへ

ディンボチェを出発しトクラ（4620m）を通りロブチェ（4910m）へ。筆者の経験からナムチェ、ロブチェは高山病が出やすい所、裏を返せば皆様を上げるのに一番神経を使う所です。ディンボチェに 3 連泊したせいか順調に進み、ロッジ到着後に高度馴化で登った背面の丘からは夕日に染まる美しいプモリ（7165m）、ヌプツェ（7861m）を見ることが出来ました。

（プモリ 7161m　11/14 日）

（ヤクの隊列 11/14 日）

〇カラパタール登頂

ロブチェを出発しゴラグショフ（5140m）へ向け順調に高度を上げ、エベレストの頂が見えだした所でロッジに到着。昼食を取り一寸ゆっくりしてからよいよカラパタール（5545m）へ向け最後の登りに取り掛かりました。さすがに 5000mを越えると目に見えて息づかいが荒くなります。登るにつれてエベレストの山容が大きくなり、眼下に荒々しいクンブー氷河が見渡せます。先頭グループが到着してから 20 分後の 16 時 35 分、後続隊も到着。20 名中 18 名の登頂でした。

（カラパタール登頂 16:41 分 11/15 日）

天渓　赤沼